



平成24年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月11日

上場取引所 東 福

上場会社名 株式会社 沖縄銀行

コード番号 8397 URL <http://www.okinawa-bank.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 玉城 義昭

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総合企画本部長 (氏名) 西平 典明

TEL 098-867-2141

四半期報告書提出予定日 平成23年11月25日

配当支払開始予定日

平成23年12月9日

特定取引勘定設置の有無 無

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(表示単位未満は切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は、対前年中間期増減率)

	経常収益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期中間期	25,271	△8.3	5,367	△14.2	3,483	5.8
23年3月期中間期	27,559	3.0	6,256	△6.4	3,292	△23.7

(注)包括利益 24年3月期中間期 3,115百万円 (△6.8%) 23年3月期中間期 3,345百万円 (—%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後1株当たり中間純利益
	円銭	円銭
24年3月期中間期	168.32	168.14
23年3月期中間期	157.37	157.33

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	連結自己資本比率(国内基準)
	百万円	百万円	%	%
24年3月期中間期	1,850,505	116,257	6.0	13.48
23年3月期	1,743,642	114,250	6.3	13.24

(参考)自己資本 24年3月期中間期 112,871百万円 23年3月期 111,055百万円

(注1)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末少数株主持分)を期末資産の部の合計で除して算出しております。

(注2)「連結自己資本比率(国内基準)」は、「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第19号)」に基づき算出しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
23年3月期	—	32.50	—	32.50	65.00
24年3月期	—	32.50	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	32.50	65.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	48,900	△9.8	9,500	△15.2	5,400	△7.4	261.34

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当中間期における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)：無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期中間期	21,400,000 株	23年3月期	21,400,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期中間期	770,681 株	23年3月期	623,977 株
③ 期中平均株式数(中間期)	24年3月期中間期	20,694,878 株	23年3月期中間期	20,919,700 株

(個別業績の概要)

1. 平成24年3月期第2四半期(中間期)の個別業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は、対前年中間期増減率)

	経常収益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期中間期	18,592	△9.7	4,394	△20.0	3,185	7.0
23年3月期中間期	20,595	5.2	5,495	△7.5	2,975	△23.5

	1株当たり中間純利益
	円 銭
24年3月期中間期	153.91
23年3月期中間期	142.25

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	単体自己資本比率(国内基準)
	百万円	百万円	%	%
24年3月期中間期	1,834,992	108,946	5.9	12.84
23年3月期	1,726,148	107,365	6.2	12.73

(参考) 自己資本 24年3月期中間期 108,840百万円 23年3月期 107,322百万円

(注1)「自己資本比率」は、「期末純資産の部合計-期末新株予約権」を期末資産の部合計で除して算出しております。

(注2)「単体自己資本比率(国内基準)」は、「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第19号)」に基づき算出しております。

2. 平成24年3月期の個別業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,800	△11.2	8,500	△10.7	5,100	0.9	246.82

※中間監査手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく中間監査手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく中間連結財務諸表及び中間財務諸表の中間監査手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

	頁
1. 当中間期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当中間連結会計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 追加情報	3
3. 中間連結財務諸表	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
(3) 中間連結株主資本等変動計算書	7
(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 継続企業の前提に関する注記	11
4. 中間財務諸表	12
(1) 中間貸借対照表	12
(2) 中間損益計算書	13
(3) 中間株主資本等変動計算書	14
(4) 継続企業の前提に関する注記	17
(5) (参考) 信託財産残高表	17

※平成23年度中間期 決算説明資料

1. 当中間期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

平成23年度上半期の国内景況は、東日本大震災後の回復に向けたサプライチェーンの立て直しなどを背景に生産活動や輸出動向が持ち直しつつあり、個人消費も低調ながら底堅さがみられる一方で、原油の高騰や円高の影響による企業収益の低迷に加え、欧州経済の先行き不透明感から、景気下振れによる景況悪化を懸念する動きが見られました。

このような中、県内景況は、個人消費関連において、スーパー・百貨店売上高は共に前年同期を上回りましたが、耐久消費財である家電卸出荷額及び新車登録台数は、エコポイント制度や補助金制度の終了により前年同期を下回りました。

建設関連では、公共工事請負金額は沖縄県や市町村の大型案件工事の減少により前年同期を下回りましたが、新設住宅着工戸数は大型分譲マンション建設の増加等により前年同期を上回りました。

観光関連では、東日本大震災の影響等による観光需要の低迷から入域観光客数が前年同期を下回り、ホテル稼働率及び観光施設入場者数も前年同期を下回りました。

このような環境のもと、当行グループは、「中期経営計画2011～2012」に定めた経営戦略に基づく各施策の着実な実行により顧客サービスの充実と業績の向上に努めました結果、当中間連結会計期間の業績は次のとおりとなりました。

経常収益は、貸出金利息や有価証券利息配当金が減少したことに加え、有価証券売却益の減少により、前中間連結会計期間比22億88百万円減少の252億71百万円となりました。一方、経常費用は、不良債権処理額及び有価証券損失の減少により、前中間連結会計期間比13億99百万円減少の199億4百万円となりました。

この結果、経常利益は、前中間連結会計期間比8億89百万円減少の53億67百万円となりました。また、中間純利益は、法人税等の減少により、前中間連結会計期間比1億91百万円増加の34億83百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

預金は、「春の当たルンバキャンペーン」、「Let'sスマイルキャンペーン」、「おきぎん美ら島支店定期預金キャンペーンⅡ」等を主力商品として個人預金の増強に努めたほか、法人預金についても継続して「SR(ストロングリレーション)活動」に注力し、資金トレースに努めた結果、銀行・信託勘定合わせ前連結会計年度末比1,068億円増加の1兆6,898億円となりました。

貸出金は、住宅ローンを中心とした個人向けローンが増加する一方で、運転資金や設備資金の需要低迷により事業性貸出が減少した結果、銀行・信託勘定合わせ前連結会計年度末比161億円減少の1兆1,253億円となりました。

有価証券は、国債、地方債など公共債を中心に投資を行い、資金の効率的な運用と安定収益の確保に努めた結果、前連結会計年度末比671億円増加の5,130億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結及び単体の通期業績予想につきましては、平成23年5月13日に公表した数値から変更ありません。当中間期の業績は、当初の予想を上回って推移しておりますが、金融経済環境の不透明感が増す中、不確実な要因を前提として今後の業績を慎重に見積もり、当初予想を据え置いております。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当中間連結会計期間における重要な子会社の異動

該当事項なし

(2) 追加情報

当中間連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正から、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日）を適用しております。

なお、「金融商品会計に関する実務指針」（日本公認会計士協会会計制度委員会報告第14号）に基づき、当中間連結会計期間の「貸倒引当金戻入益」、「償却債権取立益」及び「信託元本補填引当金戻入益」は、「その他経常収益」に計上しておりますが、前中間連結会計期間については遡及処理を行っておりません。

3. 中間連結財務諸表
 (1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当中間連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
現金預け金	37,648	34,866
コールローン及び買入手形	68,983	128,044
買入金銭債権	223	243
有価証券	445,893	513,091
貸出金	1,133,325	1,118,112
外国為替	2,824	2,719
リース債権及びリース投資資産	17,166	16,131
その他資産	15,158	15,323
有形固定資産	18,399	17,961
無形固定資産	1,231	1,092
繰延税金資産	4,365	4,814
支払承諾見返	11,940	11,285
貸倒引当金	△13,518	△13,183
資産の部合計	1,743,642	1,850,505
負債の部		
預金	1,529,833	1,639,059
借入金	13,775	12,537
外国為替	60	14
信託勘定借	45,063	43,574
その他負債	20,141	19,213
賞与引当金	688	705
役員賞与引当金	29	13
退職給付引当金	5,772	5,789
役員退職慰労引当金	27	17
信託元本補填引当金	153	110
利息返還損失引当金	171	191
睡眠預金払戻損失引当金	54	54
繰延税金負債	—	0
再評価に係る繰延税金負債	1,679	1,679
支払承諾	11,940	11,285
負債の部合計	1,629,391	1,734,247
純資産の部		
資本金	22,725	22,725
資本剰余金	17,629	17,629
利益剰余金	68,719	71,524
自己株式	△2,196	△2,683
株主資本合計	106,878	109,196
その他有価証券評価差額金	3,224	2,733
繰延ヘッジ損益	10	△0
土地再評価差額金	942	941
その他の包括利益累計額合計	4,177	3,675
新株予約権	43	105
少数株主持分	3,151	3,280
純資産の部合計	114,250	116,257
負債及び純資産の部合計	1,743,642	1,850,505

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
経常収益	27,559	25,271
資金運用収益	16,175	15,772
(うち貸出金利息)	14,248	14,061
(うち有価証券利息配当金)	1,805	1,595
信託報酬	175	238
役務取引等収益	1,881	1,909
その他業務収益	8,749	6,822
その他経常収益	577	528
経常費用	21,303	19,904
資金調達費用	2,390	2,744
(うち預金利息)	2,118	2,351
役務取引等費用	722	779
その他業務費用	5,497	5,167
営業経費	9,965	10,307
その他経常費用	2,728	904
経常利益	6,256	5,367
特別利益	177	—
固定資産処分益	0	—
償却債権取立益	130	—
信託元本補填引当金戻入益	46	—
特別損失	260	6
固定資産処分損	38	5
減損損失	0	0
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	221	—
税金等調整前中間純利益	6,173	5,360
法人税、住民税及び事業税	2,906	1,858
法人税等調整額	△185	△115
法人税等合計	2,720	1,742
少数株主損益調整前中間純利益	3,452	3,617
少数株主利益	160	134
中間純利益	3,292	3,483

中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前中間純利益	3,452	3,617
その他の包括利益	△106	△502
その他有価証券評価差額金	△121	△491
繰延ヘッジ損益	15	△10
土地再評価差額金	—	△0
中間包括利益	3,345	3,115
親会社株主に係る中間包括利益	3,187	2,980
少数株主に係る中間包括利益	158	134

(3) 中間連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
株主資本		
資本金		
当期首残高	22,725	22,725
当中間期変動額		
当中間期変動額合計	—	—
当中間期末残高	22,725	22,725
資本剰余金		
当期首残高	17,630	17,629
当中間期変動額		
自己株式の消却	△0	—
当中間期変動額合計	△0	—
当中間期末残高	17,629	17,629
利益剰余金		
当期首残高	65,704	68,719
当中間期変動額		
剰余金の配当	△680	△675
中間純利益	3,292	3,483
自己株式の消却	△1,463	—
自己株式の処分	—	△3
土地再評価差額金の取崩	—	0
当中間期変動額合計	1,148	2,805
当中間期末残高	66,853	71,524
自己株式		
当期首残高	△3,177	△2,196
当中間期変動額		
自己株式の取得	△480	△499
自己株式の処分	—	12
自己株式の消却	1,463	—
当中間期変動額合計	983	△486
当中間期末残高	△2,194	△2,683
株主資本合計		
当期首残高	102,882	106,878
当中間期変動額		
剰余金の配当	△680	△675
中間純利益	3,292	3,483
自己株式の取得	△480	△499
自己株式の処分	—	9
自己株式の消却	—	—
土地再評価差額金の取崩	—	0
当中間期変動額合計	2,131	2,318
当中間期末残高	105,013	109,196

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
その他の包括利益累計額		
その他の有価証券評価差額金		
当期首残高	4,899	3,224
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△120	△491
当中間期変動額合計	△120	△491
当中間期末残高	4,778	2,733
繰延ヘッジ損益		
当期首残高	8	10
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	15	△10
当中間期変動額合計	15	△10
当中間期末残高	23	△0
土地再評価差額金		
当期首残高	942	942
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	—	△0
当中間期変動額合計	—	△0
当中間期末残高	942	941
その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	5,849	4,177
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△105	△502
当中間期変動額合計	△105	△502
当中間期末残高	5,744	3,675
新株予約権		
当期首残高	—	43
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	43	62
当中間期変動額合計	43	62
当中間期末残高	43	105
少数株主持分		
当期首残高	2,646	3,151
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	150	128
当中間期変動額合計	150	128
当中間期末残高	2,796	3,280

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
純資産合計		
当期首残高	111,378	114,250
当中間期変動額		
剰余金の配当	△680	△675
中間純利益	3,292	3,483
自己株式の取得	△480	△499
自己株式の処分	—	9
土地再評価差額金の取崩	—	0
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	88	△311
当中間期変動額合計	2,219	2,007
当中間期末残高	113,598	116,257

(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	6,173	5,360
減価償却費	824	804
減損損失	0	0
貸倒引当金の増減(△)	△522	△335
賞与引当金の増減額(△は減少)	19	16
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	11	△16
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△71	17
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△267	△9
信託元本補填引当金の増減(△)	△46	△43
利息返還損失引当金の増減額(△は減少)	50	19
資金運用収益	△16,175	△15,772
資金調達費用	2,390	2,744
有価証券関係損益(△)	△1,122	△205
固定資産処分損益(△は益)	37	5
貸出金の純増(△)減	22,532	15,213
預金の純増減(△)	72,852	109,226
借入金(劣後特約付借入金を除く)の純増減(△)	422	△1,237
預け金(日銀預け金を除く)の純増(△)減	—	△20
コールローン等の純増(△)減	△26,456	△59,081
外国為替(資産)の純増(△)減	△1,257	104
外国為替(負債)の純増減(△)	△9	△45
信託勘定借の純増減(△)	5,804	△1,489
資金運用による収入	16,747	16,320
資金調達による支出	△1,732	△2,433
その他	2,331	1,519
小計	82,537	70,664
法人税等の支払額	△4,182	△2,251
営業活動によるキャッシュ・フロー	78,355	68,412
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△389,104	△214,851
有価証券の売却による収入	309,394	97,481
有価証券の償還による収入	6,645	47,504
金銭の信託の増加による支出	△600	△600
金銭の信託の減少による収入	600	600
有形固定資産の取得による支出	△194	△131
有形固定資産の売却による収入	91	94
無形固定資産の取得による支出	△170	△103
投資活動によるキャッシュ・フロー	△73,337	△70,005
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△680	△675
少数株主への配当金の支払額	△8	△5
自己株式の取得による支出	△480	△499
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,169	△1,180
現金及び現金同等物に係る換算差額	△45	△29
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,803	△2,802
現金及び現金同等物の期首残高	34,183	37,438
現金及び現金同等物の中間期末残高	37,986	34,636

- (5) 継続企業の前提に関する注記
該当事項なし

4. 中間財務諸表
 (1) 中間貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当中間会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
現金預け金	37,266	34,406
コールローン	68,983	128,044
買入金銭債権	223	243
有価証券	446,605	513,775
貸出金	1,141,175	1,126,676
外国為替	2,824	2,719
その他資産	4,787	5,130
有形固定資産	17,642	17,311
無形固定資産	1,123	984
繰延税金資産	2,914	3,530
支払承諾見返	11,940	11,285
貸倒引当金	△9,338	△9,118
資産の部合計	1,726,148	1,834,992
負債の部		
預金	1,539,640	1,649,693
借入金	700	1,150
外国為替	60	14
信託勘定借	45,063	43,574
その他負債	13,283	12,260
未払法人税等	1,969	1,574
リース債務	890	790
資産除去債務	317	318
その他の負債	10,106	9,577
賞与引当金	567	583
役員賞与引当金	19	11
退職給付引当金	5,618	5,626
信託元本補填引当金	153	110
睡眠預金払戻損失引当金	54	54
再評価に係る繰延税金負債	1,679	1,679
支払承諾	11,940	11,285
負債の部合計	1,618,782	1,726,046
純資産の部		
資本金	22,725	22,725
資本剰余金	17,623	17,623
資本準備金	17,623	17,623
利益剰余金	64,992	67,499
利益準備金	9,535	9,535
その他利益剰余金	55,457	57,964
別途積立金	51,720	52,920
繰越利益剰余金	3,736	5,044
自己株式	△2,196	△2,683
株主資本合計	103,145	105,165
その他有価証券評価差額金	3,224	2,733
繰延ヘッジ損益	10	△0
土地再評価差額金	942	941
評価・換算差額等合計	4,177	3,675
新株予約権	43	105
純資産の部合計	107,365	108,946
負債及び純資産の部合計	1,726,148	1,834,992

(2) 中間損益計算書

(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当中間会計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
経常収益	20,595	18,592
資金運用収益	15,717	15,335
(うち貸出金利息)	13,805	13,642
(うち有価証券利息配当金)	1,798	1,586
信託報酬	175	238
役務取引等収益	1,882	1,894
その他業務収益	2,233	668
その他経常収益	586	456
経常費用	15,099	14,197
資金調達費用	2,305	2,677
(うち預金利息)	2,134	2,367
役務取引等費用	1,118	1,157
その他業務費用	49	93
営業経費	9,299	9,603
その他経常費用	2,326	664
経常利益	5,495	4,394
特別利益	155	—
固定資産処分益	0	—
償却債権取立益	107	—
信託元本補填引当金戻入益	46	—
特別損失	258	5
固定資産処分損	35	4
減損損失	0	0
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	221	—
税引前中間純利益	5,392	4,389
法人税、住民税及び事業税	2,625	1,486
法人税等調整額	△208	△282
法人税等合計	2,416	1,204
中間純利益	2,975	3,185

(3) 中間株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当中間会計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
株主資本		
資本金		
当期首残高	22,725	22,725
当中間期変動額		
当中間期変動額合計	—	—
当中間期末残高	22,725	22,725
資本剰余金		
資本準備金		
当期首残高	17,623	17,623
当中間期変動額		
当中間期変動額合計	—	—
当中間期末残高	17,623	17,623
その他資本剰余金		
当期首残高	0	—
当中間期変動額		
自己株式の消却	△0	—
当中間期変動額合計	△0	—
当中間期末残高	—	—
資本剰余金合計		
当期首残高	17,624	17,623
当中間期変動額		
自己株式の消却	△0	—
当中間期変動額合計	△0	—
当中間期末残高	17,623	17,623
利益剰余金		
利益準備金		
当期首残高	9,535	9,535
当中間期変動額		
当中間期変動額合計	—	—
当中間期末残高	9,535	9,535
その他利益剰余金		
別途積立金		
当期首残高	44,520	51,720
当中間期変動額		
別途積立金の積立	7,200	1,200
当中間期変動額合計	7,200	1,200
当中間期末残高	51,720	52,920
繰越利益剰余金		
当期首残高	8,704	3,736
当中間期変動額		
剰余金の配当	△680	△675
中間純利益	2,975	3,185
別途積立金の積立	△7,200	△1,200
自己株式の処分	—	△3
自己株式の消却	△1,463	—
土地再評価差額金の取崩	—	0
当中間期変動額合計	△6,367	1,307
当中間期末残高	2,337	5,044

(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当中間会計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
利益剰余金合計		
当期首残高	62,760	64,992
当中間期変動額		
剰余金の配当	△680	△675
中間純利益	2,975	3,185
別途積立金の積立	—	—
自己株式の処分	—	△3
自己株式の消却	△1,463	—
土地再評価差額金の取崩	—	0
当中間期変動額合計	832	2,507
当中間期末残高	63,592	67,499
自己株式		
当期首残高	△3,177	△2,196
当中間期変動額		
自己株式の取得	△480	△499
自己株式の処分	—	12
自己株式の消却	1,463	—
当中間期変動額合計	983	△486
当中間期末残高	△2,194	△2,683
株主資本合計		
当期首残高	99,932	103,145
当中間期変動額		
剰余金の配当	△680	△675
中間純利益	2,975	3,185
自己株式の取得	△480	△499
自己株式の処分	—	9
自己株式の消却	—	—
土地再評価差額金の取崩	—	0
当中間期変動額合計	1,814	2,020
当中間期末残高	101,747	105,165
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		
当期首残高	4,898	3,224
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△119	△491
当中間期変動額合計	△119	△491
当中間期末残高	4,778	2,733
繰延ヘッジ損益		
当期首残高	8	10
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	15	△10
当中間期変動額合計	15	△10
当中間期末残高	23	△0
土地再評価差額金		
当期首残高	942	942
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	—	△0
当中間期変動額合計	—	△0
当中間期末残高	942	941

(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当中間会計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
評価・換算差額等合計		
当期首残高	5,849	4,177
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△104	△502
当中間期変動額合計	△104	△502
当中間期末残高	5,744	3,675
新株予約権		
当期首残高	—	43
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	43	62
当中間期変動額合計	43	62
当中間期末残高	43	105
純資産合計		
当期首残高	105,781	107,365
当中間期変動額		
剰余金の配当	△680	△675
中間純利益	2,975	3,185
自己株式の取得	△480	△499
自己株式の処分	—	9
土地再評価差額金の取崩	—	0
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△61	△439
当中間期変動額合計	1,753	1,580
当中間期末残高	107,535	108,946

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項なし

- (5) (参考) 信託財産残高表

(単位：百万円)

資産		
科目	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当中間連結会計期間 (平成23年9月30日)
貸出金	8,152	7,240
その他債権	6	8
銀行勘定貸	45,063	43,574
合計	53,223	50,823

(単位：百万円)

負債		
科目	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当中間連結会計期間 (平成23年9月30日)
金銭信託	53,223	50,823
合計	53,223	50,823